



RouteMagic Console Manager

RM-CM1200

WEB インターフェース説明書

- Version 4.0 -

はじめに

本書は、RM-CM の WEB インターフェースの説明書です。RM-CM の WEB インターフェースは RM-CM のコマンドの中から特に基本的なコマンドを WEB 画面から簡単に利用できるようにしたものです。RM-CM のコマンド仕様に関しましては「RouteMagic Console Manager クイックリファレンス Version 4.0」をご覧ください。

RM-CM の WEB インターフェースは RM-CM1200 のみの機能であり、RM-CM200 には搭載されておりません。

本書は、RM-CM ソフトウェア Version 4.0 を前提に記述されています。最新のソフトウェアおよび関連マニュアルは、下記ホームページから直接ダウンロードしてご利用いただけますので、常に、最新バージョンのソフトウェア環境で RM-CM をご利用下さい。

<http://www.routrek.co.jp>

関連ドキュメント

RM-CM には、本書の他に、次のドキュメントが用意されています。

■ **RouteMagic Console Manager RM-CM1200 / RM-CM200 取扱説明書**

RM-CM の設置とネットワーク機器への接続に必要な情報を記載した、製品添付の説明書です。RM-CM1200 版と RM-CM200 版があります。

■ **RouteMagic Console Manager RM-CM1200 / RM-CM200 ユーザーズ・ガイド**

RM-CM をご利用いただくために必要な作業を中心に、RM-CM が提供する機能とその利用方法を説明しています。

■ **RouteMagic Console Manager RM-CM1200 / RM-CM200 クイックリファレンス**

RM-CM でご利用いただけるコマンドについての説明書です。

■ **RM-CM セットアップサーバ構築・運用ガイド**

多数の RM-CM を設置される場合の、一括セットアップ／バージョンアップに関して記述しています。

■ **RouteMagic Console Manager リリースノート**

旧リリースとの相違点を中心に、最新リリースの機能と利用上の注意事項を記述しています。

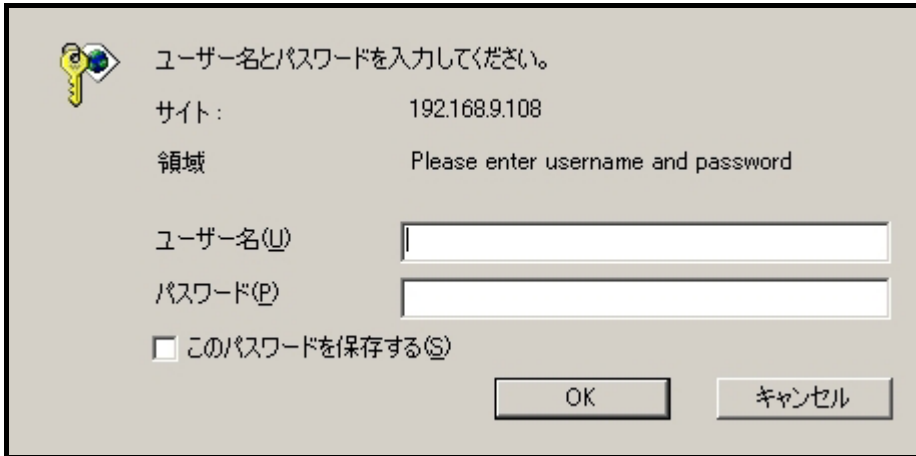
目次

1. ログイン	3
ログイン画面	3
特権モードパスワード入力画面	4
2. 情報表示	5
システム情報	5
ログ表示	6
シリアルポート情報	8
転送設定情報	10
設定情報	11
3. ネットワーク設定	12
IP アドレス	12
Hosts 設定	13
SNMP 設定	13
4. シリアルポート設定	14
基本設定	14
5. ターゲット設定	15
ターゲット設定	15
ターゲット監視設定	16
機器情報取得設定	17
操作ログ取得設定	18
6. メール設定	19
基本設定	19
メールポート情報	20
7. 転送設定	22
転送設定	22
8. システム管理	23
時間設定	23
RM-CM の再起動	23
設定の保存	24
全設定の初期化	24
ソフトウェアの更新	25
telnet 接続	25

9. その他	26
RM-CM コマンド実行	26
Ping 送信	26

1. ログイン

ログイン画面



ユーザー名とパスワードを入力してください。

サイト: 192.168.9.108

領域: Please enter username and password

ユーザー名(U):

パスワード(P):

☐ このパスワードを保存する(S)

OK キャンセル

RM-CM へ WEB ブラウザで最初に接続した時に、ログイン画面が表示されます。
この画面では RM-CM へログインするためのユーザ名とパスワードを入力します。
初期状態のユーザ ID は"rmc"、パスワードは設定されていません(空欄のまま)。
使用できるユーザ名は RM-CM コマンド'set user-name'によって追加されたユーザ名も含まれます。

[関連 RM-CM コマンド]

set user-name , set password , set user-password

特権モードパスワード入力画面

The image shows a web interface for RouteMagic. At the top, the 'RouteMagic' logo is displayed in a stylized blue font. Below the logo, the text '特権パスワード入力' (Privileged Password Input) is centered. Underneath this text, there is a blue rectangular button labeled '特権パスワード' (Privileged Password) and an adjacent empty text input field. Below the input field is a small, light gray button labeled '実行' (Execute).

ログイン後の右上に「特権モード」のリンクがあります。このクリックすることで、特権モードへ移行するパスワード入力画面が表示されます。パスワード入力画面において特権モードパスワードを入力し「実行」ボタンを押すと特権モードに移行します。特権モードでは WEB 画面にて特権モードの設定項目が表示され特権モードの設定機能を使用することが出来ます。初期状態では特権モードパスワードは設定されておりませんので、空欄のまま「実行」ボタンを押してください。

[関連 RM-CM コマンド]

enable , set enable-password

2. 情報表示

システム情報

■ 情報表示	システム情報
システム	
ログ	
シリアルポート	
転送設定情報	
設定情報	
■ ネットワーク設定	

ハードウェアバージョン	RMCM-M12-01
ソフトウェアバージョン	3.8.0
MACアドレス	00:e0:27:dd:01:1b
稼働時間	20 min

システム情報を表示します。

ハードウェアバージョン、ソフトウェアバージョン、eth0 ポートの MAC アドレス、RM-CM が起動してから現在までの稼働時間が表示されます。

[関連 RM-CM コマンド]

show version

ログ表示

COM ポートログ表示

■ 情報表示 システム ログ シリアルポート 転送設定情報 設定情報 ■ ネットワーク設定 IPアドレス Hosts設定 SNMP設定 ■ シリアルポート設定 基本設定 ■ ターゲット設定 ターゲット設定 ターゲット監視設定 機器情報取得設定 操作ログ取得設定 ■ メール設定	ログ表示				
	COM	Mail	Login	RMQ	
	ポート	説明	送信(Bytes)	受信(Bytes)	ログ表示
	com1		—	—	表示
	com2		—	—	表示
	com3		—	—	表示
	com4		—	—	表示
	com5		—	—	表示
	com6		—	—	表示
	com7		—	—	表示
	com8		—	—	表示
	com9		—	—	表示
	com10		—	—	表示
	com11		—	—	表示
	com12		—	—	表示

シリアルポートの送受信バイト数を表示します。
「表示」をクリックすると、シリアルポートの受信データを表示します。

[関連 RM-CM コマンド]

show log comN

MAIL ログ表示

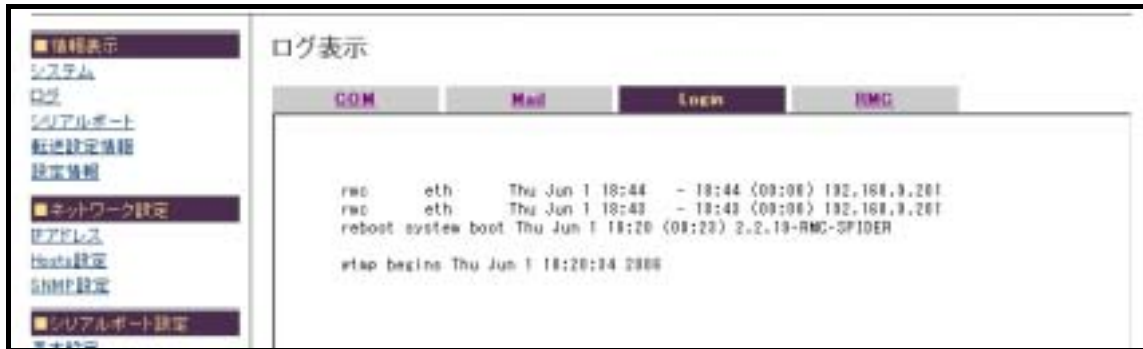
■ 情報表示 システム ログ シリアルポート 転送設定情報 設定情報 ■ ネットワーク設定 IPアドレス Hosts設定 SNMP設定 ■ シリアルポート設定 基本設定	ログ表示			
	COM	Mail	Login	RMQ
	<pre>Postfix mail system Copyright (c) 1997,1998,1999, International Business Machines Corporation and others. All Rights Reserved. Jun 1 18:20:43 ayrcd : daemon started</pre>			

メール送受信ログを表示します。

[関連 RM-CM コマンド]

show log mail

LOGIN ログ表示

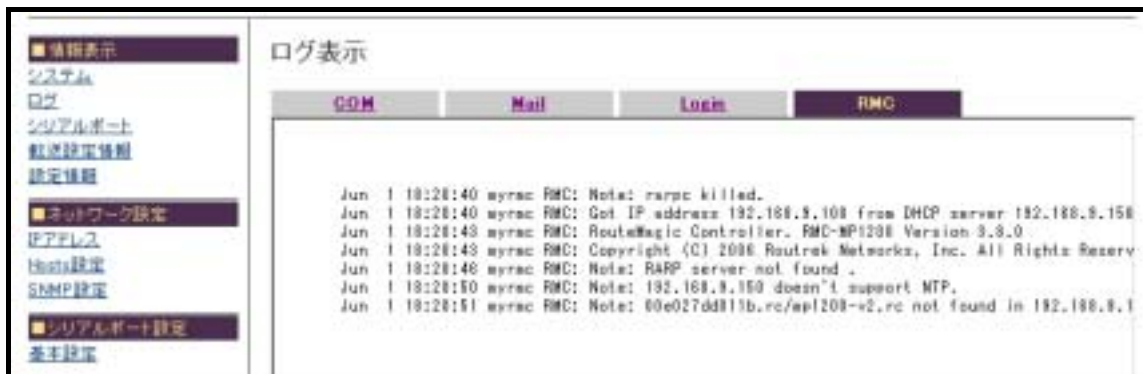


RM-CM にログインしたユーザ情報のログを表示します。

[関連 RM-CM コマンド]

show log login

RM-CM ログ表示



RM-CM の内部動作ログを表示します。

[関連 RM-CM コマンド]

show log rmc

シリアルポート情報

コンソール監視

■ 情報表示

システム

ログ

シリアルポート

転送設定情報

設定情報

■ ネットワーク設定

IPアドレス

Hosts設定

SNMP設定

■ シリアルポート設定

基本設定

■ ターゲット設定

ターゲット設定

ターゲット監視設定

監視情報取得設定

操作ログ取得設定

■ メール設定

シリアルポート情報

コンソール監視

シリアルポート状態

ポート	説明	ターゲットタイプ	監視結果	ログ表示
com1		cisco/default	未設定	ログ表示
com2		cisco/default	未設定	ログ表示
com3		cisco/default	未設定	ログ表示
com4		cisco/default	未設定	ログ表示
com5		cisco/default	未設定	ログ表示
com6		cisco/default	未設定	ログ表示
com7		cisco/default	未設定	ログ表示
com8		cisco/default	未設定	ログ表示
com9		cisco/default	未設定	ログ表示
com10		cisco/default	未設定	ログ表示
com11		cisco/default	未設定	ログ表示
com12		cisco/default	未設定	ログ表示

各シリアルポートの監視対象装置の状態を表示します。

表示される項目は description (シリアルポートに付加されるコメント)、ターゲットタイプ、監視結果 (監視設定を行っている場合) です。

「ログ表示」をクリックすることで、各ポートの受信ログのページが表示されます。

[関連 RM-CM コマンド]

set description, set target-type, set target-check, set target-ping-check

シリアルポート状態

■ 情報表示

[システム](#)

[ログ](#)

[シリアルポート](#)

[転送設定情報](#)

[設定情報](#)

■ ネットワーク設定

[IPアドレス](#)

[Hosts設定](#)

[SNMP設定](#)

■ シリアルポート設定

[基本設定](#)

■ ターゲット設定

[ターゲット設定](#)

[ターゲット監視設定](#)

[監視値取得設定](#)

[操作ログ取得設定](#)

■ モデル設定

[基本設定](#)

シリアルポート情報

コンソール監視

シリアルポート状態

ポート	説明	転送速度	パリティ	フロー制御	ストップビット	操作ログ	送信 (bytes)	受信 (bytes)
com1		9600 bps	none	none	1	—	—	—
com2		9600 bps	none	none	1	—	—	—
com3		9600 bps	none	none	1	—	—	—
com4		9600 bps	none	none	1	—	—	—
com5		9600 bps	none	none	1	—	—	—
com6		9600 bps	none	none	1	—	—	—
com7		9600 bps	none	none	1	—	—	—
com8		9600 bps	none	none	1	—	—	—
com9		9600 bps	none	none	1	—	—	—
com10		9600 bps	none	none	1	—	—	—
com11		9600 bps	none	none	1	—	—	—
com12		9600 bps	none	none	1	—	—	—

各シリアルポートの設定状態を表示します。

表示される項目は description (シリアルポートに付加されるコメント)、転送速度、パリティビット、フロー制御、ストップビット、送受信バイト数、操作ログ取得の設定状態です。

RM-CM コマンドの“set connect-port”で、あらかじめシリアルポートへの直接接続を可能にしておくことにより「telnet 接続」のリンクが表示されます。このリンクをクリックすることで、各シリアルポートへの直接接続を行うことができます。

[関連 RM-CM コマンド]

set description, set speed, set parity, set flowcontrol, set stopbits, set connect-log, set connect-port

転送設定情報

■ 情報表示 システム ログ シリアルポート 転送設定情報 設定情報 ■ ネットワーク設定 IPアドレス Hosts設定 SNMP設定 ■ シリアルポート設定 基本設定 ■ ターゲット設定 ターゲット設定 ターゲット監視設定 振替情報取得設定 操作ログ取得設定 ■ メール設定 基本設定	転送設定情報		
	転送元ポート	フィルタ	転送先ポート
	rnc		m10
	target1		m10
	target2		m10
	target3		m10
	target4		m10
	target5		m10
	target6		m10
	target7		m10
	target8		m10
	target9		m10
	target10		m10
	target11		m10
	target12		m10

RM-CM コマンドの”set spy”による転送設定の状態を表示します。

[関連 RM-CM コマンド]

set spy, show spy

設定情報

Running config



RM-CM の現在の全設定情報を表示します。

[関連 RM-CM コマンド]

show running-config

Startup config



RM-CM の保存されている全設定情報を表示します。RM-CM の再起動時にはこの設定状態で起動されます。

[関連 RM-CM コマンド]

show configuration

3. ネットワーク設定

IP アドレス

IPアドレス設定	
eth0	
IPアドレスをDHCPで取得	☒ (IPアドレスの設定値がDHCPより優先されます)
IPアドレス	
ネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
eth1	
IPアドレス	
ネットマスク	
ネームサーバアドレス1	
ネームサーバアドレス2	
設定 リセット	

各イーサネットポートの DHCP クライアント、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定及びネームサーバアドレスの設定を行います。(DHCP クライアント設定及びデフォルトゲートウェイ設定は eth0 のみ行えます。)

IP アドレスの設定は DHCP クライアントの設定より優先されます。

[関連 RM-CM コマンド]

set dhcp, set address, set name-servers

Hosts 設定

The screenshot shows the 'Hosts 設定' (Hosts Configuration) page. On the left is a sidebar with navigation links: '情報表示' (Information Display), 'システム' (System), 'ログ' (Log), 'シリアルポート' (Serial Port), '転送設定情報' (Transfer Setting Information), '設定情報' (Setting Information), 'ネットワーク設定' (Network Setting), 'IPアドレス' (IP Address), 'Hosts設定' (Hosts Setting), 'SNMP設定' (SNMP Setting), and 'シリアルポート設定' (Serial Port Setting). The main area is titled 'ホストアドレス設定' (Host Address Setting) and contains a table with columns: 'No.', 'IPアドレス', 'ホスト名', and 'クリア' (Clear). The table has two rows: row 1 with IP '192.168.0.2' and host 'host12', and row 2 with IP '192.168.0.1' and host 'host1'. Each row has a 'クリア' button. Below the table are '設定' (Set) and 'リセット' (Reset) buttons.

No.	IPアドレス	ホスト名	クリア
1	192.168.0.2	host12	クリア
2	192.168.0.1	host11	クリア

DNS が利用できない時のための、ホスト名と IP アドレスの変換テーブルを設定します。

[関連 RM-CM コマンド]

set hosts, show hosts

SNMP 設定

The screenshot shows the 'Snmp設定' (SNMP Setting) page. The sidebar is identical to the Hosts configuration page. The main area contains three input fields: 'Community名' (Community Name) with the value 'public', 'Trap送信先' (Trap Destination) with the value '192.168.0.1', and 'Trap Community' with the value 'public'. Below these fields are '設定' (Set) and 'リセット' (Reset) buttons.

snmp のコミュニティ名、snmp trap の送信先、snmp trap のコミュニティ名の設定をします。

[関連 RM-CM コマンド]

set snmp-community, set snmp-traps,

4. シリアルポート設定

基本設定

■ 情報表示

[システム](#)

[ログ](#)

[シリアルポート](#)

[転送設定情報](#)

[設定情報](#)

■ ネットワーク設定

[IPアドレス](#)

[Hosts設定](#)

[SNMP設定](#)

■ シリアルポート設定

[基本設定](#)

■ ターゲット設定

[ターゲット設定](#)

[ターゲット監視設定](#)

[機器情報取得設定](#)

[操作ログ取得設定](#)

■ メール設定

[基本設定](#)

[メールポート情報](#)

シリアルポート設定

ポート	転送速度	データ	パリティ	フロー制御	ストップビット
com1	9600 bps	8	none	none	1
com2	9600 bps	8	none	none	1
com3	9600 bps	8	none	none	1
com4	9600 bps	8	none	none	1
com5	9600 bps	8	none	none	1
com6	9600 bps	8	none	none	1
com7	9600 bps	8	none	none	1
com8	9600 bps	8	none	none	1
com9	9600 bps	8	none	none	1
com10	9600 bps	8	none	none	1
com11	9600 bps	8	none	none	1
com12	9600 bps	8	none	none	1

設定

リセット

各シリアルポートの転送速度、1文字のビット数、パリティ、フロー制御、ストップビット長を設定します。

[関連 RM-CM コマンド]

set cszize, set parity, set speed, set stopbits, set flowcontrol

5. ターゲット設定

ターゲット設定

■ 情報表示

[システム](#)

[ログ](#)

[シリアルポート](#)

[転送設定情報](#)

[設定情報](#)

■ ネットワーク設定

[IPアドレス](#)

[Hosts設定](#)

[SNMP設定](#)

■ シリアルポート設定

[基本設定](#)

■ ターゲット設定

[ターゲット設定](#)

[ターゲット監視設定](#)

[機器情報取得設定](#)

[操作ログ取得設定](#)

■ ギャル設定

[基本設定](#)

[ギャルポート情報](#)

■ 転送設定

[転送設定](#)

ターゲット設定

ポート	説明	ターゲットタイプ	使用中	監視結果	ポート状態	ログ表示
com1		cisco		未調査	9600	ログ表示
com2		cisco		未調査	9600	ログ表示
com3		cisco		未調査	9600	ログ表示
com4		cisco		未調査	9600	ログ表示
com5		cisco		未調査	9600	ログ表示
com6		cisco		未調査	9600	ログ表示
com7		cisco		未調査	9600	ログ表示
com8		cisco		未調査	9600	ログ表示
com9		cisco		未調査	9600	ログ表示
com10		cisco		未調査	9600	ログ表示
com11		cisco		未調査	9600	ログ表示
com12		cisco		未調査	9600	ログ表示

設定

リセット

各シリアルポートのコメント及び接続されているターゲットタイプの設定を行います。
「ログ表示」をクリックすることで、各ポートの受信ログのページが表示されます。

[関連 RM-CM コマンド]

set description, set target-type

ターゲット監視設定

■ 情報表示

[システム](#)

[ログ](#)

[シリアルポート](#)

[転送設定情報](#)

[設定情報](#)

■ ネットワーク設定

[IPアドレス](#)

[Hosts設定](#)

[SNMP設定](#)

■ シリアルポート設定

[基本設定](#)

■ ターゲット設定

[ターゲット設定](#)

[ターゲット監視設定](#)

[機器情報取得設定](#)

[操作ログ取得設定](#)

■ メール設定

[基本設定](#)

[メールポート情報](#)

■ 転送設定

[転送設定](#)

ターゲット監視設定

ポート	監視	監視間隔 (分)	PING監視	PING送信先	PING間隔 (分)	PING回数	PING成功回数
com1	☐		☐				
com2	☒	10	☒	192.168.0.100	3	3	3
com3	☐		☐				
com4	☐		☐				
com5	☐		☐				
com6	☐		☐				
com7	☐		☐				
com8	☐		☐				
com9	☐		☐				
com10	☐		☐				
com11	☐		☐				
com12	☐		☐				

各シリアルポート経由及び PING による監視対象装置の監視設定を行います。

「監視間隔」はシリアルポート経由からの監視を行う間隔を指定します。「PING 送信先」は監視対象装置の IP アドレスを指定します。「PING 間隔」は PING による監視間隔。「PING 回数」は PING を送信する回数を指定します。(デフォルト3)「PING 応答回数」は何回の応答があれば成功とみなすかの回数を指定します。「PING 回数」を超える数字は指定できません。

[関連 RM-CM コマンド]

set target-check, set target-ping-check

機器情報取得設定

■ 情報表示

[システム](#)

[ログ](#)

[シリアルポート](#)

[転送設定情報](#)

[設定情報](#)

■ ネットワーク設定

[IPアドレス](#)

[Hosts設定](#)

[SNMP設定](#)

■ シリアルポート設定

[基本設定](#)

■ ターゲット設定

[ターゲット設定](#)

[ターゲット監視設定](#)

[機器情報取得設定](#)

[操作ログ取得設定](#)

■ メール設定

[基本設定](#)

[メールポート情報](#)

■ 転送設定

[転送設定](#)

機器情報取得設定

ポート	取得ON	取得時間(時) (カンマ区切り)	取得時間(分) (カンマ区切り)
com1	☐		
com2	☒	0,3,6,9	0,30
com3	☐		
com4	☐		
com5	☐		
com6	☐		
com7	☐		
com8	☐		
com9	☐		
com10	☐		
com11	☐		
com12	☐		

設定

リセット

監視対象装置の情報収集及び収集した情報の送信時刻を設定します。
「取得時間」は情報収集の時間と分をそれぞれカンマ区切りで指定します。
例えば、深夜 0 時、午前 6 時、正午、午後 6 時に収集する場合は、
「取得時間(時)」は"0,6,12,18"、「取得時間(分)」は"0"となります。

[関連 RM-CM コマンド]

set network-info-time

操作ログ取得設定

■ 情報表示

[システム](#)

[ログ](#)

[シリアルポート](#)

[転送設定情報](#)

[設定情報](#)

■ ネットワーク設定

[IPアドレス](#)

[Hosts設定](#)

[SNMP設定](#)

■ シリアルポート設定

[基本設定](#)

■ ターゲット設定

[ターゲット設定](#)

[ターゲット監視設定](#)

[機器情報取得設定](#)

[操作ログ取得設定](#)

■ メール設定

[基本設定](#)

[メールポート情報](#)

操作ログ取得設定

ポート	取得ON	
com1	☐	
com2	☒	
com3	☒	
com4	☐	
com5	☐	
com6	☐	
com7	☐	
com8	☐	
com9	☐	
com10	☐	
com11	☐	
com12	☐	

設定

リセット

connect コマンドで接続したポートの操作記録を、ポート”targetN”に出力する設定を行います。

”targetN”へ出力された内容は「転送設定」によって各ポート（メールポートやシリアルポート）へ送信することが出来ます。

[関連 RM-CM コマンド]

set connect-log, set spy

6. メール設定

基本設定

メール基本設定	
メール送信サービス	☒
受信メール認証	☐ 認証を行うためにはRMSのPGP公開鍵を登録しておく必要があります
メールリレーホスト	192.168.0.1
送信元アドレス	routrek.co.jp
設定 リセット	

電子メールサービスの基本設定を行います。

「メール送信サービス」は電子メールサービスを開始する設定を行います。

「受信メール認証」は RMS(RouteMagic Server)から受信したメールの認証の設定です。RMS の PGP 公開鍵を設定する必要があります。

「メールリレーホスト」はメール送信時のリレー(中継)ホスト名を指定します。

「送信元アドレス」は RM-CM が送信するメールの "From"アドレスのドメイン部分を指定します。

[関連 RM-CM コマンド]

set mail-certification, set mail-service, set mail-relayhost, set mail-origin

メールポート情報

■ 情報表示

[システム](#)

[ログ](#)

[シリアルポート](#)

[転送設定情報](#)

[設定情報](#)

■ ネットワーク設定

[IPアドレス](#)

[Hosts設定](#)

[SNMP設定](#)

■ シリアルポート設定

[基本設定](#)

■ ターゲット設定

[ターゲット設定](#)

[ターゲット監視設定](#)

[機器情報取得設定](#)

[操作ログ取得設定](#)

■ メール設定

[基本設定](#)

[メールポート情報](#)

■ 転送設定

[転送設定](#)

■ システム管理

[時間設定](#)

[RMCの再起動](#)

[設定の保存](#)

[全設定の初期化](#)

メールポート設定

ポート	送信アドレス	エラー通知アドレス	最大文字数	最大行数	待ち時間(秒)	暗号化
ml0	rms@[192.168.10.135]		64000		10	-
ml1			64000		10	-
ml2			64000		10	-
ml3			64000		10	-
ml4			64000		10	-
ml5			64000		10	-
ml6			64000		10	-
ml7			64000		10	-
ml8			64000		10	-
ml9			64000		10	-
ml10			64000		10	-
ml11			64000		10	-
ml12			64000		10	-
ml13			64000		10	-
ml14			64000		10	-
ml15			64000		10	-

設定

リセット

メールポートの各種設定を行います。

「送信アドレス」はメールの宛先アドレスを指定します。

「エラー通知アドレス」はエラーメールの宛先アドレスを指定します。

「最大文字数」は 1 メールあたりの最大文字数を指定します。

「最大行数」は 1 メールあたりの最大行数を指定します。

「待ち時間」は監視対象装置からの文字出力が止まった時、そこまでに受信した文字列をメール送信するまでの待ち時間を指定します。

メールの送信は、「最大文字数」、「最大行数」、「待ち時間」のいずれか 1 つの条件が満たされた時点で送信されます。

「暗号化」は送信メールの暗号化を行うかどうかの設定をします。メールを暗号化するには、set public-key でメールアドレスを ID とする PGP 公開鍵をあらかじめ設定しておく必要があります。”RES”を指定した場合は、ルートレック独自の暗号化方式(RES:Routrek Encryption Scheme)を使用し、RMS(RouteMagic Server)との送受信メールを暗号化します。ルートレック独自暗号方式は、メールポート ml0 のみで使用可能で、RMS のメールアドレスがセットされている事と、RMS からのメールの受信が POP を使用せずに直接行える環境である必要があります。

[関連 RM-CM コマンド]

set mailto, set errors-to, set max-nmr-of-lines, set max-nmr-of-chars,
set inactivity-timer, set mail-encryption

7. 転送設定

転送設定

■ 情報表示

[システム](#)

[ログ](#)

[シリアルポート](#)

[転送設定情報](#)

[設定情報](#)

■ ネットワーク設定

[IPアドレス](#)

[Hosts設定](#)

[SNMP設定](#)

■ シリアルポート設定

[基本設定](#)

■ ターゲット設定

[ターゲット設定](#)

[ターゲット監視設定](#)

[機器情報取得設定](#)

[操作ログ取得設定](#)

■ メール設定

[基本設定](#)

[メールポート情報](#)

■ 転送設定

[転送設定](#)

転送設定

転送元ポート	フィルタ	転送先ポート	追加
rmc	none	m10	追加

転送元ポート	フィルタ	転送先ポート	削除
rmc		m10	削除
target1		m10	削除
target2		m10	削除
target3		m10	削除
target4		m10	削除
target5		m10	削除
target6		m10	削除
target7		m10	削除
target8		m10	削除
target9		m10	削除
target10		m10	削除
target11		m10	削除
target12		m10	削除

ポートからポートへの単方向の接続の設定を行います。

たとえば、“com1”から“m11”の設定を行うと、com1 への入力 が m11(メールポート 1)へ送信されます。

また、フィルタを指定した場合、com ポートの入力をフィルタを通過した文字列が送信先ポートへ送られます。ここで指定されるフィルターは各シリアルポートのターゲットタイプに従ったフィルターが設定されます。

[関連 RM-CM コマンド]

set spy, show spy, set target-type, set target-filter, show target-filter

8. システム管理

時間設定

時刻設定

NTPサーバ (NTPサーバ指定時は下記の時刻設定は行えません)

時刻 2006 / 05 / 31 18 : 32

NTP サーバの設定または時刻の設定を行います。

NTP サーバを指定した場合、サーバの設定と同時に NTP サーバへの時刻の問い合わせを行い、以降 1 日に 1 回の時刻修正を行います。

NTP サーバを指定していない(空欄)場合は、「時刻」で指定した日時に設定されます。

[関連 RM-CM コマンド]

set ntp-server, set date

RM-CM の再起動

RMCの再起動

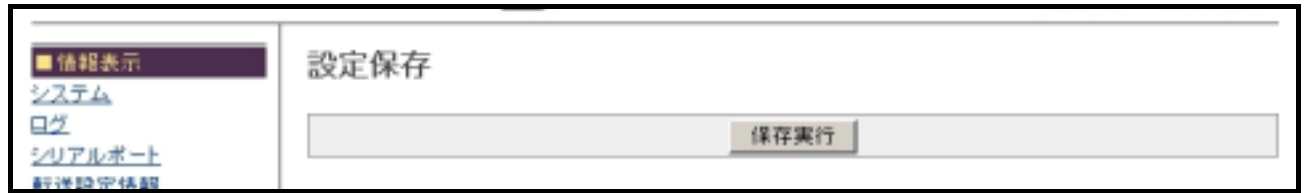
RM-CM の再起動を行います。

保存していない設定は破棄されますのでご注意ください。

[関連 RM-CM コマンド]

reload

設定の保存

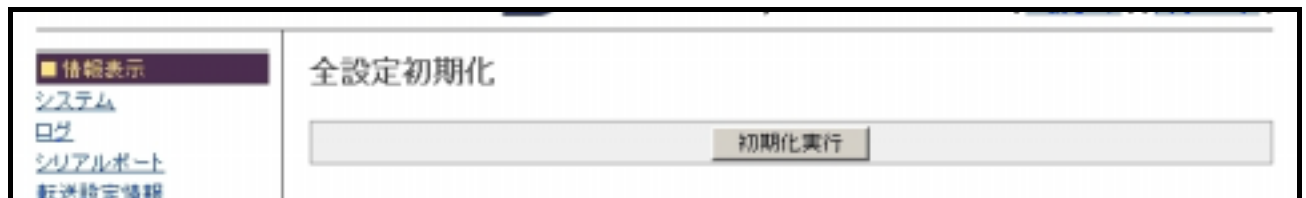


RM-CM の現在の設定情報を保存します。
設定情報を保存する事で再起動後も保存した設定状態で起動します。

【関連 RM-CM コマンド】

write memory

全設定の初期化



保存されている設定情報を削除します。
再起動後、RM-CM は工場出荷時の設定に戻ります。なお、本機能を実行すると、シリアルポートのログ内容、および RM-CM 内に保存されている装置の設定情報も同時に消去されます。

【関連 RM-CM コマンド】

write erase

ソフトウェアの更新

ソフトウェアの更新

実行後自動的に再起動を行います

☒ http ☐ ftp

http:// プロキシ名

ホスト名 ファイル名

実行 リセット

ソフトウェアのアップグレードファイルを受信し、アップグレードを行います。

左のラジオボタンでアップグレードファイルの受信方法を選択し、サーバ名、ファイル名を指定します。

「実行」ボタンを押すとファイルの受信が始まりエラーが無ければアップグレードを行います。

アップグレードが終了すると自動的に再起動を行いますので、保存されていない設定は破棄されます。

なお、本機能を実行すると、シリアルポートのログ内容および RM-CM 内に保存されている装置の設定情報は消去されます。

【関連 RM-CM コマンド】

upgrade

telnet 接続

RM-CM への telnet による接続を行います。

「telnet 接続」のリンクをクリックすると、WEB ブラウザに関連付けられた telnet クライアントソフトが起動し RM-CM へのログインが行えます。

9. その他

RM-CM コマンド実行

The screenshot shows a web interface for executing RM-CM commands. On the left is a sidebar menu with categories like '情報表示' (Information Display), 'システム' (System), 'ログ' (Log), 'シリアルポート' (Serial Port), '転送設定情報' (Transfer Setting Information), '設定情報' (Setting Information), 'ネットワーク設定' (Network Setting), 'IPアドレス' (IP Address), 'Hosts設定' (Hosts Setting), 'SNMP設定' (SNMP Setting), 'シリアルポート設定' (Serial Port Setting), '基本設定' (Basic Setting), 'ターゲット設定' (Target Setting), 'ターゲット設定' (Target Setting), 'ターゲット監視設定' (Target Monitoring Setting), '機器情報取得設定' (Device Information Acquisition Setting), '操作ログ取得設定' (Operation Log Acquisition Setting), 'メール設定' (Mail Setting), '基本設定' (Basic Setting), and 'メールポート情報' (Mail Port Information). The main area is titled 'コマンド実行' (Command Execution). It contains a text input field with the placeholder 'コマンドを記述してください' (Please describe the command). Below the input field are two buttons: '実行' (Execute) and 'リセット' (Reset). The text input field contains the following commands:

```
set port m12
set inactivity-timer 100
set max-number-of-lines 3
set mailto aaa@routeek.co.jp
```

任意の RM-CM コマンドを実行します。

テキストエリアに実行したいコマンドを記述し、「実行」ボタンを押すことで実行を開始します。実行完了後、実行結果が表示されます。

Ping 送信

The screenshot shows a web interface for sending ping requests. On the left is a sidebar menu with categories like '情報表示' (Information Display), 'システム' (System), 'ログ' (Log), 'シリアルポート' (Serial Port), '転送設定情報' (Transfer Setting Information), '設定情報' (Setting Information), 'ネットワーク設定' (Network Setting), 'IPアドレス' (IP Address), 'Hosts設定' (Hosts Setting), 'SNMP設定' (SNMP Setting), 'シリアルポート設定' (Serial Port Setting), '基本設定' (Basic Setting), 'ターゲット設定' (Target Setting), 'ターゲット設定' (Target Setting), 'ターゲット監視設定' (Target Monitoring Setting), '機器情報取得設定' (Device Information Acquisition Setting), '操作ログ取得設定' (Operation Log Acquisition Setting), 'メール設定' (Mail Setting), '基本設定' (Basic Setting), and 'メールポート情報' (Mail Port Information). The main area is titled 'Ping送信' (Ping Send). It contains a text input field labeled 'Ping送信先' (Ping Send Destination) with the value '192.168.0.1'. Below the input field is a button labeled 'Ping実行' (Ping Execute).

指定したホストへの接続のテストを行います。

PING を送信するあて先アドレスを指定し、「PING 実行」ボタンを押すと PING の送信を行い実行結果が表示されます。

[関連 RM-CM コマンド]

ping

製品に関するサポートのご案内

製品に関するお問い合わせやテクニカルサポートについては、下記の弊社サポートページをご覧ください。

<http://www.routrek.co.jp/support/>

また、製品に関する最新情報やマニュアルも上記ページからダウンロードすることができますのでご参照ください。

Copyright©2007 株式会社 ルートレック・ネットワークス All rights reserved.

このマニュアルの著作権は、株式会社 ルートレック・ネットワークスが所有しています。
このマニュアルの一部または全部を無断で使用、あるいは複製することはできません。
このマニュアルの内容は、予告なく変更されることがあります。

商標について

ルートレック・ネットワークスのロゴおよび RouteMagic は、株式会社 ルートレック・ネットワークスの登録商標です。

本書に記載されている製品名等の固有名詞は、各社の商標または登録商標です。



株式会社ルートレック・ネットワークス

〒213-0002 神奈川県川崎市高津区二子 5-1-1 高津パークプラザ7F

Tel. 044-829-4361 Fax. 044-829-4362